

活動成果報告書

平成26年度（第18回）「チョダ地域保健推進賞」

活動テーマ

思春期Ⅱ「自分の心と体を知る」

～保健体育等の授業の中で、「性」に関する正しい知識を学習し、また氾濫する性情報や携帯メール等について考える～

応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名）

豊田市 子ども部 子ども家庭課

代表者：伊澤 裕子

勤務先：豊田市役所

所 属：子ども部 子ども家庭課

所在地：〒471-8501

愛知県豊田市西町3丁目60番地

TEL：0565-34-6636

FAX：0565-32-2098

E-Mail：kodomokatei@city.toyota.aichi.jp



◇活動方針

中学生が自分の体と心の変化についてメカニズムを知り、男女の「性」について正しく理解をする。また、命の尊さを知り、自分の存在や恋愛、結婚を肯定的に捉え、人が互いに尊重し合う心を育成することを目的に、「生と性の教育」を中学校等に出向き授業を行う。

◇活動に至った背景

豊田市は、親元を離れて両親2人での子育て家庭が多く、世代間で子育ての知恵や工夫が伝承されにくい状況である。

つまり、妊娠出産・子育てについて知識がない状態で親になり、子育ての不安感の高い人や、養育支援の必要になる家庭が増えているのが現状である。また、自身の妊娠にまったく気づかずに、出産に至るケースがこの数年で数件あり、自分の体や月経の仕組みについて、理解していない人が意外に多いことがわかった。

そこで、平成23年度から、本事業である思春期教育Ⅱ「自分の心と体を知る」事業を始めた。

活動成果報告書

◇活動内容

本事業は、教育委員会の協力を得て、校長会や保健体育教師・養護教諭の研修会にて、事業紹介を行い、希望する中学校の主に3年生を対象に、1～2クラス毎に保健体育等の授業を利用し実施している。

中学校3年生用指導内容（1年・3年の保健体育の教科書の内容に沿って2時間実施）

時 間	指 導 内 容	指 導 者
1 時限目 (45 分)	① 保健師の仕事内容を知り、健康生活のアドバイザーとして認識する。 ② 思春期の体の変化について、教科書の内容を確認しながら、自分自身の変化として捉えられるように学習する。 ・ 男子の変化・腋毛や性器周辺の毛が生える・精通がある・親との関係の変化等 ・ マスターベーションについての正しい知識と衛生 ・ 女子の変化・胸が膨らむ・腋毛や性器周辺の毛が生える・月経が始まる等 ③ 体の変化（精通・月経のはじまり）を通して、命をつなぐ意味を理解する。 ・ 胎児の成長を学ぶ中で、赤ちゃんを産み育てる意味、父親母親になる意味を考える。 ④ 課題を考える。 ・ メル友に二人きりで会おうと誘われました。あなたなら、どうする？ ・ 大好きな子から「Hしない？」と誘われました。あなたなら、どうする？	保健師 補助・教師 保健師
2 限目 (45 分)	⑤ 「性感染症」を、教科書の内容を確認しながら、種類や予防についての知識を学ぶ。 ⑥ 「セクシャルネットワーク」について、人間関係相関図を完成させていく活動を通して、人は一人ではなく、様々なところで繋がっていることを実感する。 ⑦ 10代の妊娠と出産の社会問題を提示し、再度親になることの責任や意味を考える。 ⑧ アンケート（授業感想・質問等）を記入する。	保健師

◇成果

【平成26年度実績】

16 中学校 / 27 校 生徒数 2,172 人 実施回数 83 回

小学校：2 校（315 名） 保護者講座：1 回（29 名） 大学生：1 年生（164 名）

【アンケート結果】（平成26年度の中学3年生の学習後アンケートに回答した生徒1327名より）

- ① 「自分が妊娠する体・妊娠させることができる体に変化してきたという理解した」96.1%
- ② 「卵子・精子の老化について理解できた」90.7%
- ③ 「性感染症の予防について理解できた」83.6%
- ④ 「自分や相手を大切にすることについて」71.8%
- ⑤ その他の感想等

「小学校の時に同じような授業を受けたが、受け取り方が全然違っていた」

「子宮さんが出てきて生理の仕組みが良くわかった」

活動成果報告書

「親になるべき時期を考えたい」

上記のような回答であり、受講した生徒の多くは、こちらが期待している内容を理解している結果が得られ、効果を確信している。

本年度は中学生の保護者を対象に、同じ授業を「模擬授業」として実施し、「是非自分の子どもの中学校で実施してほしい」等の意見をいただいた。

また、中学生時代に正しい知識を伝えられなかった大学生の世代へのアプローチを検討し、今年度より大学と連携し、大学生向けの講義も試行した。不妊予防の知識の普及もめざすとともに、中学生の頃にどんなことを学びたかったか等、情報を収集する機会としても活用した。大学生からは「中学生だと、男子も女子もいる中で性に関する授業を受けるとするのは恥ずかしいと思う。しかし今日のような楽しい授業であれば、生徒も楽しく授業を受けられ理解を深めることができると思った。」等、肯定的な意見が多かった。

◇今後の計画やPRしたいこと

【PRしたいこと】

- ・縦割り行政の中、教育委員会と連携し授業を運営することができ、また年を重ねるたびに、教育の現場に理解者を増やすことができている。
- ・豊田市の総合計画の重点施策として取り組むことができている。
- ・計画当初は、中学3年生を対象に、指導案も2時間授業であった。しかし最近では、対象を中学2年生で行ったり、授業形態を学校の都合に合わせて行ったり、それぞれの学校の状況に合わせて柔軟に対応することで実施校を確実に増やしている。
- ・中学生を対象に考えているが、スタッフのスキルアップが進み、小学校でのニーズに対応できるようになり、希望に沿えるようになった。（基本の指導内容を、小学生版も改定作成した）
- ・受講した親子間で共通の話題にでき、事業対象である中学生とその親世代に同じ情報を提供し、2つの世代から、またその間の世代にも「生と性に関する正しい情報」が伝達されていくことを狙っている。

【今後の計画】

- ・平成30年度までに、豊田市内全中学校（27校）で、実施できるよう学校の要望を考慮しながら実施する。
- ・「保護者向け講座」を保護者が更に参加しやすい時期に開催し、受講者数を増やしたいと考えている。
- ・大学と連携を図り大学生向け講座「性に関する正しい教育」を実施し、不妊予防の知識普及もめざすとともに、性教育を十分受けていない世代の隙間を埋める。